

つながり ひろげる 脱使い捨てと水の域産域消

水Do!フォーラム2016

近年、国内外で、ペットボトルなどの使い捨て容器に入った飲料の大量消費を抑制し、水道水の飲用利用を推進する動きが始まっています。環境負荷の低減、地域の水資源保全、人にやさしく潤いのあるまちづくりにつながるこうした取り組みを、さらに広げていくためには、何が必要なのでしょうか。

本フォーラムでは、各地のトップランナーからの報告を共有し、日本における大きなムーブメント創出に向けて、関係者の連携を呼びかけます。

日時 2016年
2月25日(木) 13:30~16:40

会場 東京国際フォーラム ※裏面地図参照
G610 会議室

定員 80名
資料代 一般 1,000円
学生 500円

プログラム

◎ 基調講演

「飲む」ことから考える地域の水資源

橋本 淳司氏 (水ジャーナリスト)

◎ 水の域産域消事例報告

熊本県 熊本市

「世界に誇る地下水をまもる」

大住 和子氏 (環境ネットワークくまもと理事)

京都府京都市

「大学生による京都の水道水のPR」

龍谷大学経営学部藤岡ゼミ

奈良県生駒市

「使い捨て容器削減とおいしい水の推進」

小紫 雅史氏 (生駒市長)

オーストラリア

「世界で初めてペットボトル飲料水販売をやめた町」

有川 真理子氏 (環境市民 理事)

<休 憩 (オアシスタイム)>

◎ 提言

「2020年に向けた水Do! 提案」

瀬口 亮子 (水Do! ネットワーク事務局長)

◎ パネルディスカッション

「水の域産域消を広げるための課題と鍵」

パネラー：橋本 淳司氏 (水ジャーナリスト)

大住 和子氏 (環境ネットワークくまもと理事)

小紫 雅史氏 (生駒市長)

古澤 康夫氏 (東京都環境局資源循環推進部専門課長)

瀬口 亮子 (水Do! ネットワーク事務局長)

コーディネーター：明石 修氏 (武蔵野大学工学部准教授)



【主催】水Do! ネットワーク 【後援】環境省・厚生労働省・東京都 (以上申請中)

※このフォーラムは、平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。

◇講師プロフィール



橋本 淳司 (はしもと じゅんじ)

水ジャーナリスト、アクアコミュニケーター。
週刊「水」ニュース・レポート編集・発行人。
水課題を抱える現場を調査し情報発信。国や自治体への水政策の提言、子どもや一般市民を対象とする講演活動を行う。近著は『100年後の水を守る 水ジャーナリストの20年』（文研出版）、『67億人の水 - 争奪から持続可能へ』（日本経済新聞出版社）、『日本の地下水が危ない』（幻冬舎新書）など。

アクアスフィア

HP:<http://www.aqua-sphere.net/>



水Do! キャンペーンとは

「水Do! (スイドゥ)」は、ペットボトルなどの使い捨て飲料容器の使用を減らし、水道水の飲用、「水の域産域消」を推進することにより、環境負荷の低減と地域の水資源保全、人にやさしく潤いのあるまちづくりを促進するキャンペーンです。

2010年6月、

国際環境NGO FoE Japanの活動としてスタートし、

2014年度より活動をより大きく展開するため、

賛同団体で構成する

「水Do! ネットワーク」により

運営しています。

会場案内

東京国際フォーラム

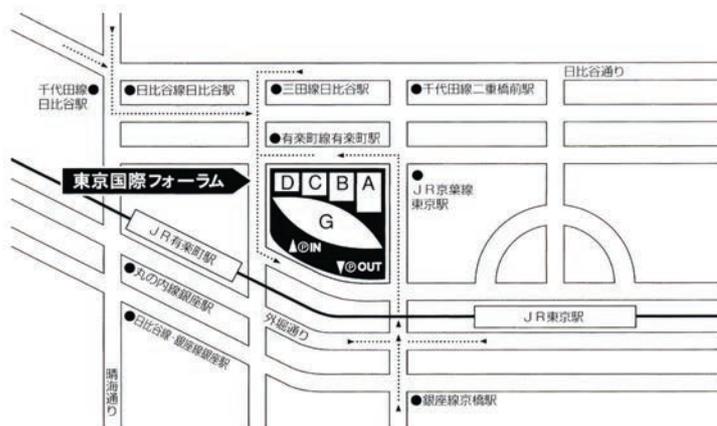
東京都千代田区丸の内3-5-1

<交通アクセス>

J R線・地下鉄 有楽町駅より徒歩1分

J R線・地下鉄 東京駅より徒歩5分

地下鉄 銀座駅、二重橋前駅より徒歩5分



水Do! ネットワーク
(水Do! キャンペーン事務局)

〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル3F

TEL.075-211-3521/FAX.075-211-3531 (環境市民気付)

E-mail: info@sui-do.jp URL: <http://sui-do.jp>

お申込み

ウェブの申込みフォーム (<http://goo.gl/forms/0W5iV8S1yx>) よりお申し込みください。

または、以下の参加申込書に記入の上、FAXかEメールで送信ください。

【送付先】水Do! ネットワーク事務局

FAX: 075-211-3531 E-mail: info@sui-do.jp

水Do! フォーラム2016 参加申込書

ふりがな		所 属	
氏 名		役 職	
電 話		E-mail	